

2020年2月分結果の紹介

- 家計調査結果（二人以上の世帯）より -

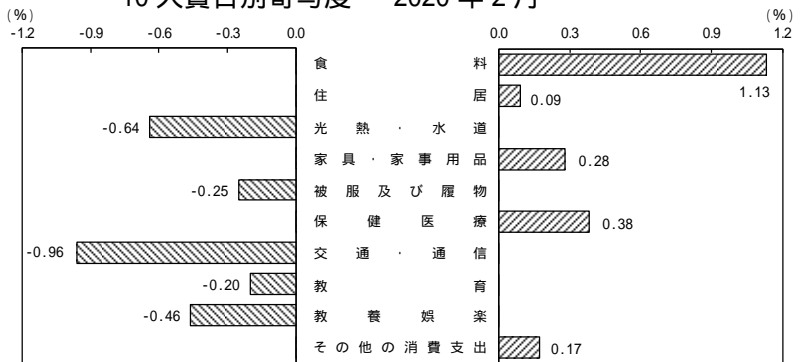
家計調査は、国民生活の実態を家計収支の面から明らかにする統計調査です。特に、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況において、現在の社会経済情勢を正確に把握することがこれまで以上に重要となっており、家計調査は感染症が消費に与える影響を知る上でも、なくてはならない情報源となっています。ここでは、感染症拡大が消費動向に影響を及ぼし始めた2020年2月分結果を紹介します。

2月の消費支出は実質0.3%の減少

二人以上の世帯の2月の消費支出は、27万1735円となり、前年に比べ、物価の影響を取り除いて比較した実質で0.3%の減少となりました。

2月は、うるう年により昨年より1日多く、その分全体的に消費が押し上げられます。そのような中で、買いだめ等が発生した、調理食品などを含む「食料」やマスク・消毒液などを含む「保健医療」が大きく伸び、逆に自粛の影響で、鉄道の運賃や定期代を含む「交通・通信」や、国内パック旅行や映画・演劇等の入場料を含む「教養娯楽」が大きく落ち込むなど、感染症拡大の影響が顕著に表れています（図1）。

図1 消費支出の対前年同月実質増減率に対する10大費目別寄与度 -2020年2月-



- (注) 1 各費目は、他の世帯への贈答品やサービスの支出を含んでいます。
- 2 ここでいう寄与度とは、消費支出の対前年同月実質増減率（-0.3%）に対し、各費目がどの程度影響しているかを示す指標です。
- 3 「その他の消費支出」の増減率の実質化には、消費者物価指数（持ち家の帰属家賃を除く総合）を用いています。

「ティッシュペーパー・トイレットペーパー」の支出は、月末に増加

次に、2月の「ティッシュペーパー・トイレットペーパー」の日別支出をみると、政府から小中学校の休校要請があった27日から29日にかけて、大きな支出があったことが分かります。特に、28日の支出は118円となっており、2019年2月の日別平均（18円）の約6.6倍となっています（図2）。

このほかにも、「パスタ」や、「カップ麺」などで同じ時期に大きな支出がありました。

図2 「ティッシュペーパー・トイレットペーパー」の日別支出

